

令和4年4月1日

契約者各位

Prince-King 株式会社
代表取締役
井手 広司

特撰☆銘柄サービス半期報告書
(令和3年10月1日～令和4年3月31日)

平素、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

令和3年10月1日～令和4年3月31日までの期間における特撰☆銘柄サービスの半期報告書を作成いたしましたので、掲示させていただきます。

1. 当該期間の状況について

日経平均株価は令和3年10月から令和3年年末にかけて、中期的には持合いを続けました。令和3年の株価推移を総括すると、日経平均株価が27,000円から30,000円の間を推移する横ばいの相場であったと結論付けます。その後、年末天井の形で令和4年に入り強い下落相場が始まりました。

特にロシアとウクライナ情勢による株価、そして為替への影響は非常に強く、各株式指数は下落し、円相場も大きい下落となりました。一方、金や原油、レアアースの価格が高騰し、関連銘柄も伴って上昇しました。東証一部の売買代金は3兆円の日が連日続き、市場取引は非常に活発化しております。

2. 当該期間の特撰☆銘柄サービスについて

当該期間の特撰☆銘柄サービスの状況は、29回の助言メールを発信いたしました。当該期間中の累計損益率は+6.3%となりました。内現物買いが17回、信用売りが12回でした。

前半期より、着実に利益を伸ばしていくために、①持ち玉を半分利確する助言、及び②後日反発を狙った指値範囲を指定した助言を追加しております。結果として前半期よりも実績は向上することができました。

(注) 累計損益率とは、各取引による取引実績を単純合計したものであり、運用資産の利回りを表示したものではありません。算定基準とした価格は、メール送信時の日本取引所グループ発表の価格をもとに算定しております。

3. 今後の運用に関して

過去データと現状の値動きを照合し、統計的に有利な売買判断をする手法が強固なもの

となってまいりました。また、トレンドラインの考え方を一新し、値動きが反転するポイントを見極める技術が向上しました。データ照合による精度向上とトレンド方向の正確な判断の多角的な判断により、助言成果を飛躍できると考えております。今後も、一層の利益追求を実現してまいります。引き続き「特選☆銘柄サービス」にご期待ください。

以上

※金融商品取引業者の表示

登録 投資助言業 九州財務局長（金商）第12号

商号 Prince-King 株式会社

加入 一般社団法人 日本投資顧問業協会

手数料等 プレミアム会員 入会金0円、月会費20,000円

他のPKクラブ会員 入会金0円、月会費25,000円

一般 入会金45,000円 初年度月会費45,000円（次年度以降35,000円）

※金額はすべて税別表示。別途消費税が必要です。

※株式投資は価格変動リスクを伴います。

※信用取引と日経先物取引は証拠金毀損リスク及びレバレッジリスクがあります。